



平成22年度

地域づくり総合支援事業

(サポート事業)

平成22年に実施された『地域づくり総合支援事業 (サポート事業)』の実績を紹介します。

(一般枠：その他の地域)

白河市

◇伝統技能復活推進事業 (甲冑作り) ◇

白河甲冑塾

【事業内容】白河地方において甲冑製作の伝統技術を復活させるため、手作り甲冑教室を開催した。製作した甲冑 (紙製・鉄製・皮製) は、商店街等に陳列するなど、まちづくりの一環として活用した。

- 手作り甲冑教室 (初級・中級・上級講座)
- 行事への参加 (2回)
- 展示発表会 (2回)



白河市

◇スポーツ和太鼓フェスティバル◇

21' スポーツクラブ in しらかわ

【事業内容】国道289号甲子トンネル開通を記念し、国道289号沿線市町村に存する和太鼓愛好会を参集し、「和太鼓フェスティバル」を開催した。また、フェスティバル会場に沿線市町村の地域特産物販売コーナーを設置し、地域間の交流を図った。

- 日時：平成22年8月1日（日）
- 会場：白河市民会館
- 出演団体：9団体（県内8団体、県外1団体）



白河市

◇大昭和祭り◇

社団法人白河青年会議所

【事業内容】白河市中心市街地において、『昭和』をキーワードとしたイベントを開催し、世代や地域を越えた交流を図りながら、まちなかに賑わいを取戻すための取組みを実施した。

- 期日：平成22年4月29日（金）昭和の日祝日
- 場所：白河市中心市街地（大工町、新蔵町、向新蔵）
- 来場者：約 12,000 人
- 内容
 - ・空き店舗、民家を活用して昭和の街並みを再現
 - ・手書き映画看板の展示、ミゼットによる宣伝
 - ・懐かしい遊び体験（ベーゴマ、メンコ、お手玉、おはじき 等）



白河市

◇『つるし飾り』を活かしてまちづくり◇

白河ひなの会

【事業内容】街中ににぎわいを取り戻すため『つるし雛』を製作し、商店等に展示し中心市街地の活性化を図った。

また、だるま市において『つるし雛』づくりのコーナーを設け、観光客にも体験してもらい観光資源としての活用を探った。

- つるし雛づくり教室 週3回 火・水・金
- 展示発表会
- 体験：だるま市『つるし飾り製作体験』2月



白河市

◇白河ヒーロープロジェクト（Shirakawa Hero Project）◇

白河商工会議所青年部

【事業内容】街の活性化を目的にキャラクターを作成し、地域のイベントなどに出向き街中に賑わいを創出し、中心市街地の活性化を図った。

- キャラクターの作成（新キャラクターアスラ）
- イベント・ステージ出演（だるま市など38回）
- マスコミ出演（7回）
- 主題歌「ライス」作成
-



白河市

◇白河提灯まつり～いにしへの光と歴史のページェント～◇

白河提灯まつり実行委員会

【事業内容】長い歴史と伝統を誇る「白河提灯まつり」は隔年開催であるため、従来の伝統ある提灯祭りに新しいスタイルを取り入れ、地域の活性化と県南地方における観光の一大イベントとして「白河提灯まつり」を実施した。

- 期日：平成22年9月19日（日）
- 内容
 - ・提灯御輿行列（10町と横・田町の神社御輿）
 - ・子供提灯まつり（10小学校区）
 - ・物産展示即売会（中田運動公園）



白河市（旧：表郷）

◇天狗山（遊々の森）を使って体も地域も生き生きにしよう◇

おもてごう里山クラブ

【事業内容】白河市表郷にある『天狗山』を活用し、地域の小学4年生を対象にした『1/2成人式』と『日本一遅い？山開き』を開催した。

- 「1/2成人式」
- 日本一遅い？山開き
- 登山道の整備と管理



白河市

◇白河の関・ホテルの里整備事業◇

旗宿を元気にする会

【事業内容】白河市旗宿地区の環境保全を目的に「ホテルの里」を整備し、当地域の素晴らしさを発信することで、観光振興及び地域の活性化を図った。

- ホテルの里整備
- セミナー実施
- ツアーガイド養成



*当該事業は「住民による新たな県民運動円卓会議」構築支援事業により検討・協議してきた事案

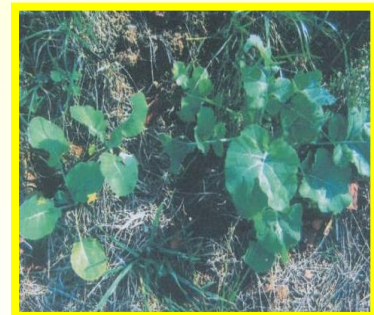
白河市 東

◇菜の花による地域交流事業◇

菜の花倶楽部

【事業内容】白河市東地区の旧東中学校跡地を菜の花畑にし、地域住民の環境美化への意識啓発を図るほか、交流事業を通し地域の活性化を図った。

- 旧東中学校跡地の土壌改良、菜の花作付け（約9,200㎡）
- 住民参加型による刈り取りと脱穀



白河市・西郷村・下郷町・天栄村

◇広域観光連携事業◇

白河甲子大川羽鳥広域観光連携実行委員会

【事業内容】 県南地域と南会津地域を結ぶ国道289号線が開通し、新たな観光ルートが誕生したことから、隣接する4市町村が連携し、地域資源の情報発信を行うことにより、本地域への誘客促進、交流人口の増加を図った。

- PRキャンペーン事業
- モニターツアー実施



矢吹町

◇奥州街道やぶき軽トラ市事業◇

やぶき軽トラ市実行委員会

【事業内容】 空洞化する中心市街地に賑わいを創出するため、軽トラックや軽ワゴン車、軽自動車等で農産物や工芸品、飲食物などを販売する『奥州街道やぶき軽トラック市』を開催した。

- 実施回数：9回（4月～12月）
- 参加店舗：実質出店数、月平均約30店舗
- 日時：毎月第3日曜日の8:00～11:15
- 会場：矢吹駅西側（旧奥州街道、約500m）



矢吹町

◇矢吹町国際観光交流事業◇

矢吹町国際観光交流協議会

【事業内容】矢吹町の特産品や生産品等について、国際的・広域的な販路拡充と、福島空港の利用促進、人的交流による地域活性化を図るために国際交流事業を行った。
また、国際交流がスムーズに進むように地域の住民に対し韓国語講座を開催することにより、受入れ基盤を整備した。

- 国際交流事業
- 韓国人観光客誘客事業
- 語学、慣習講座



白河市ほか

◇国道289号甲子道路利用促進事業◇

新白河広域観光連盟

【事業内容】国道289号甲子道路の利用を促進するため、終点であるいわき市に置いて観光物産展を開催することで、県南地域の観光・物産の魅力をPRし地域の活性化を図った。また、平成21年度に作成した目的別観光マップを活用し、フォトコンテストとスタンプラリーを実施することで、地域の魅力を発信した。

- 観光物産展の開催「まるごと“しらかわ”広域物産フェア」
 - ・期日：平成22年9月25日(土)
 - ・会場：小名浜さんかく倉庫
 - ・10市町村参加
- フォトコンテスト・スタンプラリーの実施



泉 崎 村

◇鳥峠復興プロジェクト事業◇

鳥峠復興プロジェクト実行委員会

【事業内容】泉崎村の鳥峠稲荷神社修復事業の竣工式に併せて、泉崎村のシンボルである鳥峠を核に様々な人々がられあい、また、観光振興につなげるため鳥峠復興プロジェクトが実施され、村民を巻き込んだ文化的行事の鳥峠復興祭等が開催された。

- 開催日：平成22年9月12日（日）
- 内容
 - ・泉崎村伝統芸能の披露（3曲）
 - ・少年相撲の開催（雨のためプログラムを変更 少年12～15名参加）
 - ・復興祭開催に併せた地元老人会によるオリジナル記念グッズの作成
 - ・地元の特産品を使用した料理コンテストの開催（参加品数10点）



棚 倉 町

◇町なかコミュニティ三世代交流事業◇

棚倉町 第二行政区自治会

【事業内容】棚倉町第二行政区は、少子化と同時に高齢者の一人暮らしが増加という課題がある一方で、三世代同居世帯が多いという特徴があるため、様々な行事を三世代で取り組み、地域の行事として継承し世代間で交流することにより、高齢者の介護予防、また、地域の伝統・環境に関心を持ち、他人に対する思いやりの心持つ子供達を育成することを目指した。

- 地域サロン（4回）
- 三世代清掃ボランティア（2回）
- お寺のラジオ体操
- 水辺の教室の開催



白 河 市

◇白河商工会議所会館建設地場産品展示スペース確保事業◇

白河商工会議所

【事業内容】新たに建設された白河商工会議所会館は、白河市中心市街地活性化計画の事業として、複合型施設として建設された新設図書館（機能充実と賑わい創出のため公民館機能や産業支援機能を備えたもの）に併設して建設された。

この2つの施設が立地するエリアは、広域からの集客が期待され、中心市街地活性化の核となるものであることから、県南地方の地場産業製品、地場産品等を広く周知・紹介するパブリックスペースを会館内に確保し、県南地方の産業振興に寄与することとなった。

○ パブリックスペース 57.51㎡（施設総延べ面積 948.06㎡）



泉 崎 村

◇うつくしまおらが里のネットワーク◇

里山再生プロジェクト

【事業内容】県南地域の自然や農産物等の資源を活用し、都市と農村の交流を図った。

また、農商工のネットワークを活かし、傷がい者の農業分野での就労機会を創出し、自立支援を促進しながら誰もが暮らしやすい地域づくりを目指した。

- 都市生活者と農村の交流（エコガニックツアー）
- 地産地消ネットワーク交流会
- 障がい者の就労機会の創出



白河市

◇白河駅舎活用事業◇

白河市中心市街地活性化協議会

【事業内容】白河市中心市街地活性化基本計画の白河駅舎活用事業により、21年9月にオープンした「えきかふえ SHIRAKAWA」を利用して、県南地方の中核的な市として各地域の特産品販売や文化活動を行うとともに、情報発信を図った。

- 白河駅舎「えきかふえ」を活用した各種イベント開催
 - ・ 県南地方物産・特産品展示販売事業
 - ・ 「白河彩発見」ぶらりまち歩き（かふえを基点とした観光コース）
 - ・ コミック原画パネル展
 - ・ 冬まつりイルミネーション事業
12月10日～2月11日 白河駅及び駅周辺



白河市

◇野出島の里づくり◇

野出島地域活性化プロジェクト

【事業内容】白河市野出島地域において、耕作放棄地の活用や文化財などの地域資源の活用を通じ、交流拡大を図り地域活性化を推進した。

- 耕作放棄地を活用したそば交流会
- 地域資源に関する講演会「狛犬講演会」



白河市ほか

◇白棚線が取り持つ“縁”（えにし）事業◇

NPO 法人 表郷ボランティアネットワーク

【事業内容】日本でも珍しい専用バス路線である「白棚線」を活用し、沿線市町村の特産品や史跡・名称地等をPRするとともに、路線の重要性への気づきを促し、地域振興を図った。

- 白棚線50年の歩み写真パネル展示会開催
- 4地域交流イベント開催（イベント名「そうだ！バスに乗ろう！！」）
- 沿線ガイドマップ看板作成（1基）



白河市ほか

◇しらかわ地方 ‘もてなしの心’ 発信事業◇

県南地方魅力発見隊

【事業内容】首都圏から近距離である県南地方の「グルメ・名所・体験」の特色を発掘・発信し、「しらかわ地方の“もてなしの心”」として「交流人口」の拡大を図り、地域の活性化を計る事業を実施した。

- 県南各市町村「祝い膳」等の発掘復元
- 「史跡・旧跡」調査



棚倉町ほか

◇国道 289 号沿線広域観光交流事業◇

特定非営利活動法人元気づくりサポートセンターなんなん福島

【事業内容】国道 289 号沿線の広域観光交流を促進するため、沿線の地域資源の案内人として「マイスター」を発掘した。さらに、これまで浜・中・会津と分断していた国道 289 号沿線の観光情報を網羅するとともに、「人（マイスター）」が国道 289 号沿線の観光情報を紹介するポータルサイトを作成した。

- マイスター登録数 22 人
- 地図情報によるホームページ作成
- サイト名「GO!GO!289」 <http://nannan-fks.jp/r289/index.html>



棚倉町

◇地域の魅力発見・発信事業

「福島はでっかい宝島！食べてみよう！福島の宝・考えてみよう！地域の宝」◇

(社) 東白川青年会議所

【事業内容】「食育」や「食文化の継承」という観点から「食」をキーワードとして、住民が主体となって、観光交流と地産地消の推進を計る事業を実施した。

- 地域資源や、食育に関する講演会、県南特産品試食会
- 東白川地域活性化策検討会



(過疎・中山間地域)

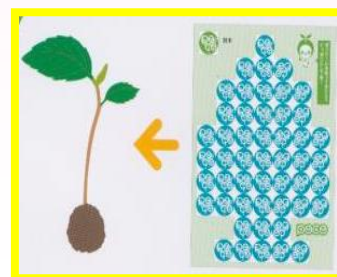
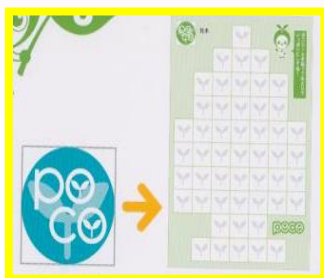
矢祭町

◇矢祭型フードマイレージによる循環型社会形成事業◇

矢祭町商工会青年部

【事業内容】 地域住民に対して矢祭町で栽培されている野菜や果物等と地球環境がどのように関係しているのか、フードマイレージを切り口とした学びの場を提供し、地産地消による地域産品の販売向上やCO2削減による地域温暖化防止等、循環型社会について意識の醸成を図った。

- フードマイレージ出前講座（2回）
- ポコポイント事業
- 植樹式



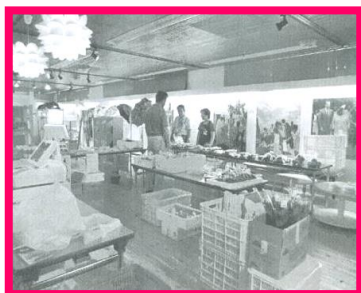
矢祭町

◇もったいない野菜販路拡大推進事業◇

矢祭町特産品開発協議会

【事業内容】 地産地消の浸透や安心安全な野菜へのニーズが高まる一方、形のよいものを求める消費者の志向に大きく左右され、農家の経営は厳しく、不安定な営農は後継者不足の一因ともなっている。矢祭町の生産者の「やりがい」作りと農業の振興並びに地域の活性化を図るため、新たな特産品の開発と矢祭町産の野菜を直接消費者に届け、さらに「もったいない野菜」のブランド化による販路拡大を図るための事業を実施した。

- もったいない市場の開催
- 消費者動向調査による梱包方法の検討
- 参加農家への営農指導



埴 町

◇人いきいき・まちきらきら活性化事業◇

人いきいき・まちきらきら活性化実行委員会

【事業内容】地域の踊りを子供達等に教え、毎年開催している埴流灯花火大会時に、町民が一体となって踊り流しを行うことで、まちなかに賑わいを創出した。
また、お盆や年末に、まちなかにイルミネーションの飾り付けを行った他、子供向けのクリスマスイベントを開催し、商店街への誘客も図った。

- 埴流灯花火大会踊り流し事業
- まちなかイルミネーション



埴 町

◇100年の鼓動！甦れ風呂山公園事業◇

埴町観光協会

【事業内容】埴町の中心街にある「風呂山公園」のツツジは植樹から平成23年に100年を迎えることから、平成23年の100年祭へ向け、風呂山公園の整備とプレイイベントを開催した。
(このほか、平成22年度で、100年祭の準備も計画していたが、東日本大震災により100年祭は平成24年に延期となった。)

- プレイイベントの開催
- 押し木行く育成・ヤマツツジ再生



埴 町

◇共生のまち・はなわ寺西八カ条プロジェクト事業◇

埴町婦人会

【事業内容】埴代官・寺西重治郎現封元の「寺西八カ条」を基軸として、地域力の向上・充実と地域活性化を図るため子育て支援、青少年の健全育成と家庭教育の充実、高齢者の見守り、外国人妻および家庭との交流活動の事業を実施した。

- 寺西八カ条立看板設置
- 八カ条条文の民話創作事業
- 子育て・高齢者支援のための研修・活動
- 子育て支援ブックスタート（絵本プレゼント）



鮫 川 村

◇「農山村ユニバーサル体験交流事業」◇

特定非営利活動法人あぶくまエヌエスネット

【事業内容】農山村地域において、障がいのあるなしにかかわらず、体験交流事業を推進するため、受入れ体勢整備やプログラム内容の企画実施を行った。

- 受入ステージの整備（散策路整備）
- ネットワークの構築
- インストラクターによる指導（ツリークライミング）
- 体験交流事業の開催「農山村ユニバーサルデザイン体験交流」



埴町真名畑区

◇あんずの里づくり整備事業◇

真名畑区

【事業内容】以前こんにやく栽培を行っていた山あいの急傾斜農地が、高齢化に伴い耕作放棄地として増えているので、ここにあんずを植栽し、遊歩道等を整備することで観光資源としての活用を図って、また、あんずの実の加工による特産品開発等を行いながら「あんずの里」づくりに取り組んだ。

平成22年度は、これまでに植栽したあんず345本7,895㎡のエリアについて、集落住民協力して管理を行うとともに、観光あんず園として看板設置を行い、観光誘客を目指し、集落活性化に取り組んだ。

- あんず圃地管理
- 看板の作製・設置
- 保管倉庫建設
- あんず植栽



埴町矢塚区

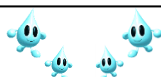
◇矢塚地区観光整備事業◇

矢塚区

【事業内容】片貝小学校矢塚分校裏山の国有地1.55haについて杉の伐採が行われた後を受け、区と棚倉森林管理署が協定を結び、この場所を「矢塚希望の森」として整備することで、地域の新たな観光資源、地域の子どもの教育の場としていく。

平成22年度は、広葉樹や花木の植樹、里山の管理について集落全体で取り組むとともに、里山公園として看板や東屋の設置を実施した。

- 里山イベント
- 里山用看板の設置（2基）
- 樹木・花木の植栽・除草（3回）
- 東屋設置の材料整備
- 2月～3月：東屋設置用の材料手配



埴町大字埴連合区

◇羽黒山里山づくり事業◇

大字埴連合区

【事業内容】 埴町中心街の東側に位置し、町のシンボルとなっている羽黒山について、森林環境交付金事業を活用し、山頂にある出羽神社の参道整備、広葉樹の苗木購入を行い、里山再生事業に取り組むこととしている。

平成22年度は、これまで植栽した3.1haのエリアにおいて、下草刈り、遊歩道の整備等を地域住民及びボランティアを募りながら実施した。

- 植林後の下草刈り・周辺不用木の伐採
- 遊歩道の整備



鮫川村富田区

◇水源の里 富田地区地域再生事業◇

富田区

【事業内容】 地域づくり計画の内容に基づき、コミュニティ活性化に向けた5事業を実施した。

- ① 交流事業（里山体験交流会）2回開催
- ② 伝統文化継承事業 3回実施
- ③ 特産品開発事業
- ④ 里山公園整備事業
- ⑤ 高齢者支援事業



鮫川村

◇緑のふるさと協力隊を活性した都市交流の促進を図る事業◇

鮫川村

【事業内容】「緑のふるさと協力隊」を受け入れ、村内の各集落で農業体験の受け入れなど交流事業を展開するための体制整備を行った。

- 地域資源の発掘（資源調査9回）
- 緑のふるさと協力隊が地域コミュニティの協力を得ながら情報のデータ化実施
- 指導者養成
- 先進地視察研修（3回）
- 交流事業（農業体験・農村ホームスティ体験など）



棚倉町下手沢区

◇元気な下手沢柿（かっき）づくり事業◇

下手沢区

【事業内容】地区内に多く存在する耕作放棄地の再生を図るため、柿等を植栽し農地再生を図りながら収穫物販売等による収益化を目指し、地区全体で肥培管理等の作業に取り組むことや、住民が気楽に立ち寄り交流できる場の設置を検討するなど、失われつつある地域内のコミュニティの再構築を行った。

- ①耕作放棄地の復元（47 a）
- ②柿等植栽・肥培管理（37 a）
- ③そば栽培（10）
- ④集会所開放（通年）
- ⑤収穫祭（12月12日）
- ⑥盆踊り（8月）



